

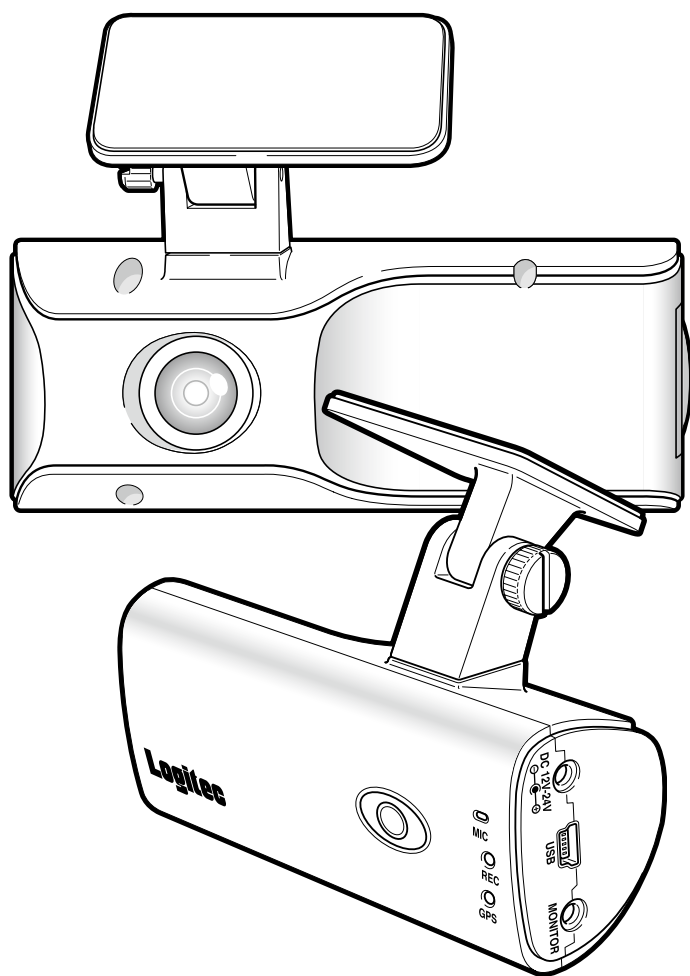
Logitec

ドライブレコーダー

LVR-SD300HD

LVR-SD300HD HD-DR Player 操作ガイド

このたびは、ドライブレコーダー LVR-SD300HD をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
最初に『スタートアップガイド』をお読みの上、取り付け、電源の接続など、設置を行ってください。
『HD-DR Player 操作ガイド』（本書）には、本製品で記録された映像の再生や、SD カードのフォーマットなどを行
う「HD-DR Player」の使用方法が記載されています。



目次

安全上のご注意（必ずお守りください）	2
使用上のご注意	3
HD-DR Player について	4
HD-DR Player をインストールする	5
インストールの前に	5
HD-DR Player をインストールする	5
HD-DR Player をアンインストールする	6
HD-DR Player を起動する	7
SD カードをパソコンにセットする	7
HD-DR Player を起動する	8
HD-DR Player を終了する	8
HD-DR Player ウィンドウの構成	9
記録された映像を再生する	11
SD カードに記録された映像を再生する	11
パソコンにバックアップした映像を再生する	11
全画面表示にする	12
映像の一部を拡大する	12
イベントを検索する	12
GPS 受信感度を表示する	12
設定を変更する	13
設定を変更する	13
設定項目の一覧	14
データをパソコンにバックアップする	16
記録データをバックアップする	16
記録設定をバックアップする	18
電子透かし認証ユーティリティを使う	18
HD-DR Player で SD カードをフォーマットする	21
SD カードをフォーマットする	21
SD カード修復する	22
困ったときは	23
製品仕様	24
サポート修理受付窓口のご案内	25

安全上のご注意（必ずお守りください）

■本製品を正しく安全に使用するために

- この「安全上のご注意」は製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。ご使用前には必ず記載された注意事項をよくお読みになり記載事項にしたがって正しくお使いください。
- この「安全上のご注意」をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の方への危害、財産の損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。



警告

この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険性または重大な物的損害が発生する可能性」があります。



- 自動車を運転中に操作しないでください。運転者による運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。本製品の操作は、必ず車が停止した状態で、周囲の安全を確認してから行ってください。手動録画ボタンを押すときは、危険がないように、周囲の安全を確認したのち、素早く操作してください。



- SDカードの差込口やその他コネクタに異物を入れないでください。火災、感電の原因になります。



- 取り付けは、運転に支障がない場所（ブレーキ操作や、ハンドル操作の妨げにならない場所）に接続してください。



- 万一、本製品から異臭や煙が出たときは、直ちに使用を中止し、電源を切りシガープラグをシガーソケットから抜いてください。その後は本製品を使用にならず、販売店にご相談ください。



- エアバックの近くに取り付けたり配線をしないでください。緊急時にエアバックの動作を妨げたり、エアバックによって製品が飛ばされ、ケガや事故の原因になる恐れがあります。



- 分解しないでください。本書の指示にしたがって行う、作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。



注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性」があります。



- 濡れた手で扱ったり水気の多い場所での使用/保管は行わないでください。



- 本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因になります。



- 運転中に製品の設定、操作をしないでください。また運転中は録画状態を確認するために製品を注視したり、わき見したりしないでください。



- 本体は精密機器のため、極端に大きな衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。



- 取り付けは確実に行ってください。正しく取り付けがされていないと、製品が脱落し、ケガをする恐れがあります。また、取り付けの際、ケガをしないように、スタートアップガイドにしたがい、慎重に行ってください。



- シガーソケットの形状をご確認ください。外国産車や一部の国産車では、本製品とシガーソケットの形状が適合しない場合がありますので、ご注意ください。



- 日本国以外では使用しないでください。この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。

その他の注意事項（その他、こんなことにも注意してください。）



- シガーソケット付近に段差などがあり、本製品を十分に差し込めない場合、市販の分配/延長ソケットをお買い求めください。



- 本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で、拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。



- 車種によっては、キーを抜いても、シガーソケットから電源が供給され、バッテリー上がりの原因となる場合があります。ご使用の車がこのタイプの場合、車から離れる際は、必ず本製品をシガーソケットから取り外しておいてください。



- シガーソケット内のごみや、汚れは、本製品の動作不安定や故障の原因となります。汚れを取り除いてから使用してください。

使用上のご注意

- 本製品を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。
また本製品を使用して記録された映像は、事故などのトラブルに対して、裁判などでの証拠能力を保証するものではありません。
- 本製品により収録された映像は、事故内容を確認するための参考としてのみご利用ください。
(裁判、紛争の和解、保険請求などに使用する場合には、お客様のご判断と費用のご負担になります。なお、映像の証拠能力が保証されているものではなく、証拠として採用されるかどうかは各関係機関の判断となり、また必ずしもお客様にとって有利な証拠となる保証はありません。)
- 本製品は、車両の運行、本製品の設置、事故時の衝撃検知などの各条件により、映像の記録を保証するものではありません。
また、上書き記録されることによりデータが保護されない場合があります。
映像の記録については、「■記録されるデータについて」(P.20)を参照してください。
- 本製品の使用によって生じたSDカード上に保存されたデータの破損、車両、および人身、その他事故に関わる損害について、弊社は一切責任を負いません。
- 製品の動作を確かめるために、急ブレーキなどの危険運転はお止めください。
- LEDタイプの信号機の場合は映像がちらついたり、色の識別がむずかしい場合があります。
- 本製品は車両の走行状態、事故時の状況を記録するための機器です。その他の目的には使用しないでください。
- 本製品の使用方法、および、本製品で記録した映像、音声のデータの使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシー等の権利を侵害する場合があります。本製品およびその記録データの使用については、法令等に当たって、十分にご注意ください。
また、本製品を取り付ける際は、道路交通法等法規に当たって正しく取り付けてください。(『スタートアップガイド』を参照してください)
- 本製品は国内での使用を想定して設計されています。海外での使用は保証の対象外となります。
- GPSの位置情報の取得スピードは、天候やフロントガラスに貼られたフィルムなどの影響を受けます。
- ウィンドウフィルムに含まれる金属がGPSの位置情報取得に影響を与えます。
- 安定してご使用いただくため、SDカードは1～2週間を目途に一度フォーマットすることをお勧めします。
- SDカードは消耗品です。(各メーカーにより製品寿命は異なります。)
ご使用状況により寿命は短くなりますので、定期的に新品に交換することをお勧めします。
- SDカードの消耗に起因する故障や損傷等については、弊社は一切の責任を負いません。

HD-DR Player について

LVR-SD300HD は、内蔵の G センサーや GPS によって、事故時の状況や日常の運転の様子などを、映像や位置情報として保存し記録できます。LVR-SD300HD を活用すると、事故処理でのトラブルの低減や安全運転やエコドライブへの意識向上に役立てることができます。

LVR-SD300HD には、記録した映像や情報を確認したり、保存したりするために専用のソフトウェア「HD-DR Player」が付属しています。

HD-DR Player の特長は、次のとおりです。

特長

- 高画質（1280 × 720）の動画が撮影できます。
- 走行中の記録映像と音声、走行中の車の位置を示すマップ、走行時の G センサーの値の情報を同時に再生できます。
- 記録する映像に関して、映像品質や G センサーの感度、フレーム数などさまざまな設定ができます。また、記録された映像を保護するためにパスワードも設定できます。
- 撮影した映像記録は、SD カードをパソコンに接続して専用のソフトウェア HD-DR Player で確認できます。
- HD-DR Player では、記録ファイルを種類ごとに表示、記録時間と本機のセンサーに衝撃の加わった時点での動作状況の分析、確認ができます。
- 映像の再生は、早送り、コマ送りができます。例えば事故の映像などは前後の映像を早送りで、瞬間の映像をコマ送りにして確認することができます。
- 独自形式で保存された記録ファイルを、標準的な動画（AVI）や静止画（JPEG）ファイルへ変換して、保存できます。その他、電子透かし付き静止画（BMP）や G センサーの値（テキストファイル）も保存できます。
- 本製品のマイクで車内の音声も映像に合わせて録音でき、車内での会話や緊急時の音声を記録することができます。

HD-DR Player をインストールする

HD-DR Player をパソコンにインストール、アンインストールする手順を説明します。

インストールの前に

インストールの前に、お使いのパソコンが次の条件に合っているかどうかを確認してください。

- ハードディスクに、使用する SD カードの容量を超える空きがあること
- OS が、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 (32bit/64bit)、Windows 8 (32bit/64bit) であること
- ディスプレイ解像度が 1024 × 768 以上であること

HD-DR Player をインストールする

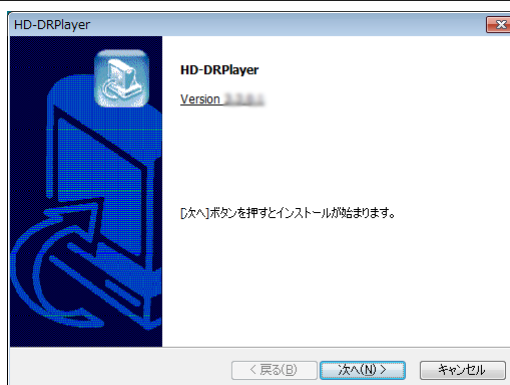
1. パソコンに CD をセットします。
[自動再生] ダイアログボックスが表示されます。
2. [フォルダーを開いてファイルを表示] をクリックします。
CD のウィンドウが表示されます。
3. 「HD-DR Player.exe」をダブルクリックします。
インストーラーが起動し、スタート画面が表示されます。

メモ

Windows Vista 以降の OS の場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたら、[はい] ボタンをクリックしてください。

4. [次へ] ボタンをクリックします。

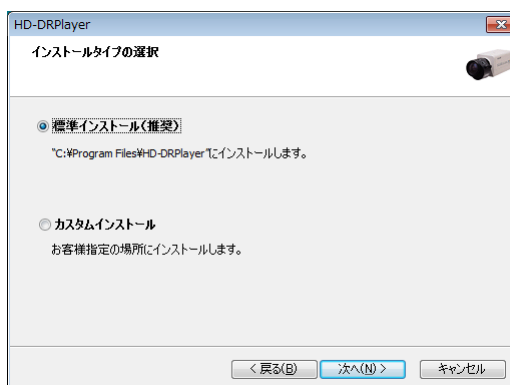
インストールタイプを選択する画面が表示されます。



5. インストールタイプを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

インストール先のフォルダーを変更したい場合は、[カスタムインストール] を選択してください。

インストールが開始されます。終了すると、完了メッセージが表示されます。



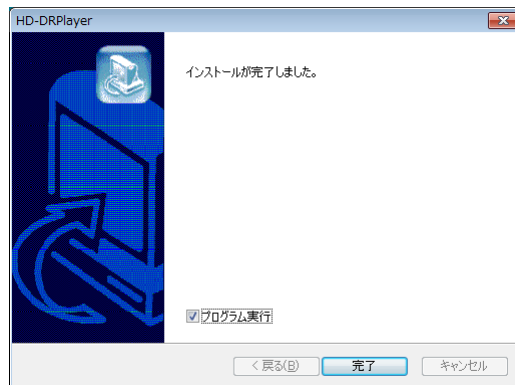
6. [完了] ボタンをクリックします。

HD-DR Player がインストールされ、デスクトップに HD-DR Player のショートカットアイコンが作成されます。

HD-DR Player が起動します。

メモ

あらかじめ [プログラム実行] にチェックが付いています。インストールの完了後、すぐに HD-DR Player を起動したくない場合は [プログラム起動] のチェックを外してください。

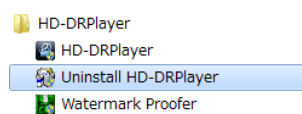


HD-DR Player をアンインストールする

1. スタートメニューを表示し、[すべてのプログラム] をクリックします。

2. [HD-DR Player] フォルダーを開き、 (Uninstall HD-DR Player) をクリックします。

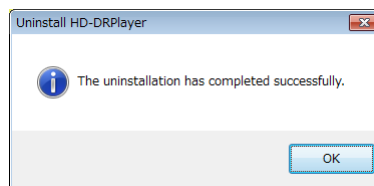
アンインストールを確認するメッセージが表示されます。



3. [はい] ボタンをクリックします。



4. [OK] ボタンをクリックします。



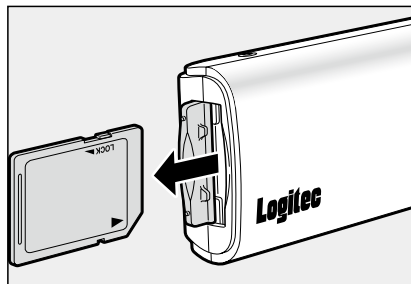
HD-DR Player を起動する

HD-DR Player の起動手順を説明します。

SD カードをパソコンにセットする

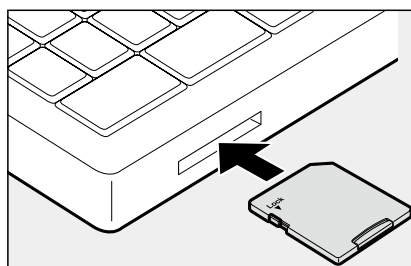
1. 本機の電源を切り、すべてのランプが消えたことを確認します。

2. 本機の SD カードスロットを開き、SD カードを取り出します。



3. パソコンの SD カードスロットに SD カードをセットします。

外付けの SD カードリーダーを使う場合は、パソコンに SD カードリーダーを接続し、SD カードリーダーに SD カードをセットします。



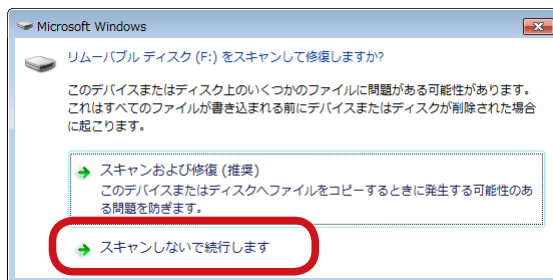
リムーバブルディスクを修復するかどうかを選択する画面が表示されます。

4. [スキャンしないで続行します] をクリックします。

[自動再生] ダイアログボックスが表示されます。

メモ

Windows XP の場合は、手順 4 の画面は表示されません。




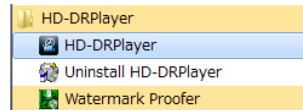
5. [×] をクリックして、[自動再生] ダイアログボックスを閉じます。



HD-DR Player を起動する

1. スタートメニューを表示し、[すべてのプログラム] をクリックします。

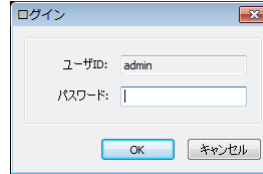
2. [HD-DR Player] フォルダを開き、 (HD-DR Player) をクリックします。



HD-DR Player が起動します。HD-DR Player ウィンドウが表示され、[ログイン] ダイアログボックスが表示されます。

3. パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

初めて HD-DR Player を起動したときは、パスワードは設定されていません。パスワードを入力する必要はありませんので、そのまま [OK] ボタンをクリックしてください。



SD カードに映像が記録されている場合は、1 番目のデータが読み込まれて表示されます。

HD-DR Player を終了する

1. HD-DR Player ウィンドウ右上の [×] をクリックします。



終了を確認するメッセージが表示されます。

2. [はい] ボタンをクリックします。

HD-DR Player が終了し、ウィンドウが閉じます。



HD-DR Player ウィンドウの構成

HD-DR Player ウィンドウには、走行中の映像や地図のほかに、再生や設定のための操作のアイコンなどが表示されます。









●映像表示領域

1	記録された映像が表示されます。 映像の下のスライダーをドラックすると、再生中のファイルの映像を検索できます。	
	(白黒で再生)	再生中の映像を白黒にします。アイコンが に変わります。
	(オリジナルで再生)	再生中の映像をオリジナルのカラーに戻します。アイコンが に変わります。


●再生操作

2	(前のイベント)	現在表示中のファイルの、ひとつ前のファイルを表示します。
	(1フレーム逆再生)	現在表示中のフレームの、ひとつ前のフレームを表示します。
	(逆再生)	逆方向に再生します。
	(一時停止)	再生中の映像を一時停止します。
	(再生)	再生を開始します。
	(1フレーム再生)	現在表示中のフレームの、次のフレームを表示します。
	(次のイベント)	現在表示中のファイルの、次のファイルを表示します。
	(リピート)	開始時刻と終了時刻を指定して、指定した範囲内の映像を繰り返し再生します。

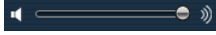


●設定・保存・印刷などの操作

3	 (多画面表示)	連続した映像を画面を 16 分割して表示します。
	 (レーン (補助線) を引く)	車線に沿うように補助線を表示させることができます。
	 (印刷)	再生中の映像をキャプチャし、印刷します。車両情報、時刻、GPS 情報などを画像とともに印刷できます。
	 (バックアップ)	記録されたデータをさまざまな形式でバックアップできます。⇒「データをパソコンにバックアップする」(P.16)
	 (設定)	映像品質やフレーム数、G センサーの感度、録音など、記録に関する設定や SD カードのフォーマットなどをします。⇒「設定を変更する」(P.13)
	 (開く)	SD カード、またはパソコン上の映像フォルダー (「data」フォルダー) を開き、本機専用形式のファイル (拡張子 JDR) を読み込みます。


● G センサー

4	G センサーの値を表示します。データ中の位置を示すバー (または上部のスライダー) をドラッグすると、記録を検索することもできます。	
		

●音量・再生速度・スピード表示

5	音量	スライダーをドラッグすると、再生時の音量を調整できます。 
	再生速度	スライダーをドラッグすると、再生スピードを調節できます。 
	スピード表示	記録された車の走行スピードを表示します。  ※ GPS データから計算された概算の速度です。厳密に車両の走行速度を示すものではありません。




● Google マップ

6	 をクリックすると Google マップを表示できます。GPS の位置情報に基づいて、マップ上に走行中の車の位置が表示されます。この機能を使うには、パソコンがインターネット接続されている必要があります。また、位置情報を表示するには記録されたデータに GPS 情報が記録されている必要があります。
---	--

●ファイル情報


7	表示中の記録データが存在するドライブやフォルダーの情報と、そこに含まれるファイルの一覧を表示します。[日付/時間]や[イベント]の部分をクリックすると、時間やイベントで順番に並び変えることができます。
---	--

● GPS 受信感度・イベント検索

8	 (イベント検索)	通常録画のデータ、衝撃時のデータなど、種類を指定して、記録データを検索できます。⇒「イベントを検索する」(P.12)
	 (GPS 受信感度)	 (GPS 受信感度) をクリックすると、ウィンドウが表示され、GPS の受信感度や GPS 位置情報を確認できます。⇒「GPS 受信感度を表示する」(P.12)

全画面表示にする

HD-DR Player ウィンドウの映像表示領域をダブルクリックすると、全画面表示になります。

元の表示に戻すには、再度映像表示領域をダブルクリックするか、（元の表示に戻る）をクリックします。

●全画面表示のアイコン



映像の一部を拡大する

映像の一部を拡大して表示できます。マウスの右ボタンでクリックすると、クリックした部分が映像表示領域とは別に拡大表示領域に拡大されて表示されます。この領域は、マウスでドラッグすると映像表示領域のどこにでも移動できます。拡大表示を止めるには、拡大表示領域の外でマウスの右ボタンをクリックします。

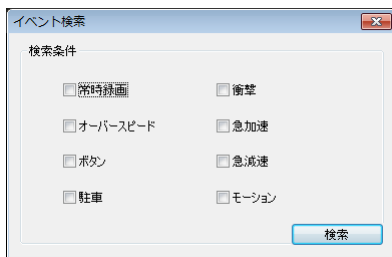


●拡大表示領域
右クリックした点を中心に映像を拡大表示します。


イベントを検索する

（イベント検索）をクリックすると、イベントの種類を選択するダイアログボックスが表示されます。

イベントの種類を選択し、[検索] ボタンをクリックすると、選択した種類のイベントだけがファイル一覧に表示されます。



GPS 受信感度を表示する

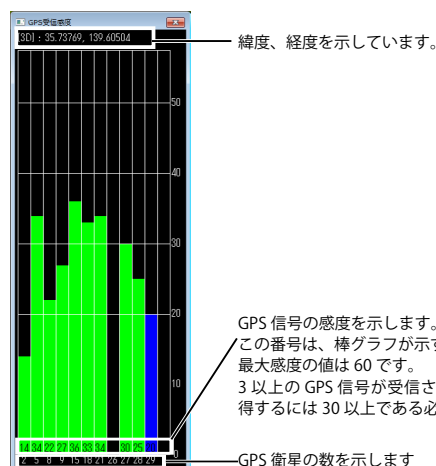
（GPS 受信感度）をクリックすると、GPS の受信感度を表示するウィンドウが表示されます。

GPS の位置情報、受信感度を確認できます。

緑色の棒グラフが表示されている場合は、GPS 信号を良好に受信しています。

青色の棒グラフが表示されている場合は、GPS 信号を受信しましたが、良好な状態ではありません。

Google マップ上の位置を表示できません。




設定を変更する

HD-DR Player では、映像や音声に関する設定、手動録画や G センサーの衝撃検知などによる録画（イベント録画）の設定、ユーザー情報など、記録に関するさまざまな情報を設定できます。

メモ

- SD カードをパソコンにセットする操作については「SD カードをパソコンにセットする」(P.7) を参照してください。
- HD-DR Player の起動操作については「HD-DR Player を起動する」(P.8) を参照してください。

設定を変更する

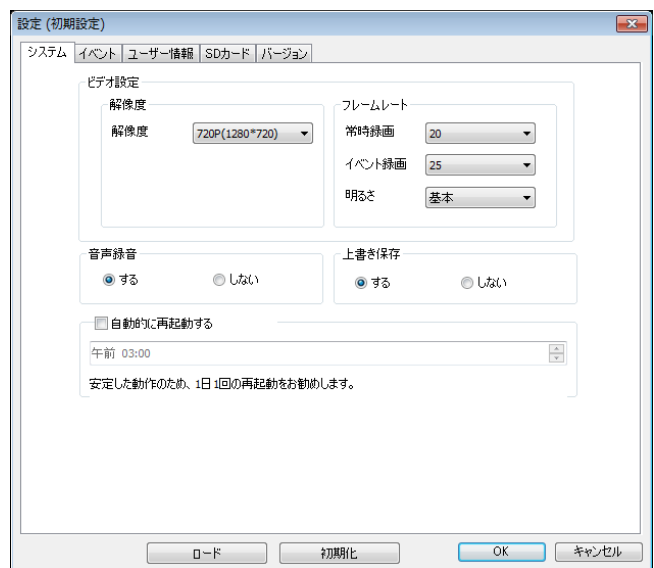
1. SD カードをパソコンにセットします。
2. HD-DR Player を起動します。
3. HD-DR Player ウィンドウの （設定）をクリックします。
[設定] ダイアログボックスが表示されます。
4. 必要に応じて、タブを選択して各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

設定は、SD カード内の「config」フォルダーに system.cfg という名称のファイルとして保存されています。

[設定] ダイアログボックスのタイトルバーには、現在読み込まれているファイルのパスが表示されます。

設定内容については、次項の「設定項目の一覧」を参照してください。

既存の設定（system.cfg）の上書きを確認するメッセージが表示されます。



5. 上書きする設定ファイルの場所を確認して、[はい] ボタンをクリックします。

パソコンに設定内容を保存することもできます。その場合は、[いいえ] ボタンをクリックし、保存場所を指定してください。

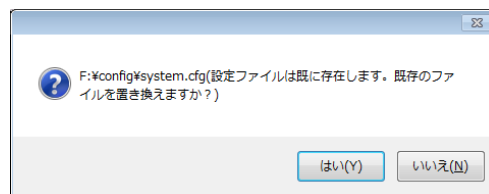
設定した値が SD カードに保存されます。

注意

SD カードがセットされていない状態で、設定の変更操作をした場合、設定ファイル（system.cfg）を保存する場所を確認するメッセージが表示されます。保存場所を選択するか、または SD カードをセットして、設定操作をやり直してください。

メモ

- [初期化] ボタンをクリックすると、[システム] [イベント] [ユーザー情報] の各タブで設定した内容を HD-RDPlayer のインストール直後の値に戻すことができます。
- [ロード] ボタンをクリックすると、既存の記録設定を読み込むことができます。複数枚の SD カードを同じ設定で利用するときには、[ロード] ボタンで同一の設定ファイルを読み込むと、設定作業の手間を省くことができます。



設定項目の一覧

●システムタブ

設定項目	設定内容と設定値
ビデオ設定	解像度 映像の解像度を設定します。720P (1280*720)、360P (640*360) のどちらかを選択します。 ※初期値は「720P (1280*720)」
	フレームレート 撮影する映像の1秒あたりのフレーム数を設定します。 常時録画 1、2、5、10、15、20、25、30 (※初期値は「20」) イベント録画 1、2、5、10、15、20、25、30 (※初期値は「25」) 明るさ 暗く、基本、明るく (※初期値は「基本」)
音声録音	音声を録音するかどうかを設定します。する、しないのどちらかを選択します。※初期値は「する」
上書き保存	イベント記録用の領域がいっぱいになった場合に上書きするかどうかを設定します。する、しないのどちらかを選択します。※初期値は「する」
自動的に再起動する	安定した動作のために、本機を自動的に再起動するように設定します。 [自動的に再起動する] にチェックを付け、▼▲をクリックして再起動の時間を選択します。 ※初期値は [自動的に再起動する] のチェックなし

●イベントタブ

設定項目	設定内容と設定値
イベント	自動的に録画される常時録画とは異なり、何らかのイベントによって録画が開始されるイベント録画に関する設定をします。次の7種類のイベントから選択します。 ボタン 本体背面の手動録画ボタンを押すことで、前後の記録をイベントとして保護します。 衝撃 本体内部のGセンサーが衝撃を検知した場合、前後の記録をイベントとして保護します。 オーバースピード 設定された時速を超えた場合、前後の記録をイベントとして保護します。 急加速 本体内部のGセンサーが急加速(アクセル)を検知した場合、前後の記録をイベントとして保護します。 急減速 本体内部のGセンサーが急減速(ブレーキ)を検知した場合、前後の記録をイベントとして保護します。 駐車 通常録画状態で、本体内部のGセンサーが動作を検知しない場合、約10分後に駐車モードとなり、記録のフレームレートを5FPSに減らし記録をします。 モーション 駐車モード中に、映像に大きな変化を検出するとモーションイベントとして記録を保護します。 ※初期値は、「ボタン」「衝撃」「駐車」にチェックが付けられています。
イベント録画時間	イベント録画の時間を設定します。 スライダーをクリックした後、[→] キー、または [←] キーを押して設定します。スライダーをドラッグしても設定できます。 イベント前 イベント前の録画時間を2秒、4秒、6秒のどれかに設定します。 ※イベント前の記録は、常時録画のフレームレートの設定が「1」のときのみ有効となります。設定が「1」以外の場合はスライダーがグレーになり操作できません。 イベント後 イベント後の録画時間を2秒から2秒間隔で最大30秒までの間で設定します。 ※初期値は、イベント前「無効」、イベント後「20秒」
オーバースピード設定	イベントの基準となるスピードを設定します。 スライダーをクリックした後、[→] キー、または [←] キーを押して設定します。スライダーをドラッグするか、または▼▲をクリックして数値を入力することもできます。 40km ~ 200kmの間で1km単位で選択できます。 ※初期値は「120km」
衝撃センサー設定	衝撃を検知するセンサーの感度を設定します。 高、中、低 最初は弱めに設定し、ご使用のたびに少しずつ感度を上げて、適切な感度になるように調整することをお勧めします。 ※初期値は「中」
イベント記録用の領域設定	SDカード内のイベント記録用の領域を設定します。 スライダーをドラッグして、イベントと常時録画用の領域の大きさを%で設定します。 ※初期値は、イベント「30%」、常時録画「70%」 注意 ・ イベントデータを保護したい場合は、必ずイベント記録用の領域を設定してください。0%に設定すると、イベントデータが保護されなくなります。 ・ SDカード内の設定ファイル(system.cfg)と異なる値を設定し、保存した場合には、記録されているデータがすべて削除されます。

●ユーザ情報タブ

設定項目		設定内容と設定値
車両情報	車両情報	車両に関する情報を入力します。※初期値は設定なし
	運転者情報	ドライバーの名前や免許証番号など、運転者に関する情報を入力します。※初期値は設定なし
	車両番号	車両番号を入力します。※初期値は設定なし
ユーザー情報	ユーザー ID	ユーザーの ID を入力します。半角英数字「a-z、A-Z、0-9」で 78 文字以内 ※初期値は「admin」
	パスワード	パスワードを入力します。半角英数字「a-z、A-Z、0-9」で 76 文字以内 ※初期値は設定なし

●SD カードタブ

SD カードのフォーマットと修復ができます。詳細は「HD-DR Player で SD カードをフォーマットする」(P.21) を参照してください。

●バージョン情報タブ

HD-DR Player と本機のバージョン情報が表示されます。

データをパソコンにバックアップする

SD カードに記録されたデータ、記録設定をパソコンにバックアップ（保存）します。

記録データをバックアップする

SD カードに記録されたデータの種別を指定してバックアップします。指定できるデータの種別は、5 種類です。

保存形式	説明
静止画 (JPEG)	JPEG 形式の静止画 (拡張子 jpg) で保存します。
電子透かし付静止画 (.BMP)	BMP 形式の電子透かし付き静止画 (拡張子 bmp) で保存します。 付属の電子透かし認証ユーティリティを使うと、改ざんされていないかどうかを確認できます。
動画 (.AVI)	Windows 標準の動画形式 (拡張子 avi) で保存します。 ※ Windows XP, Windows Vista では再生に別途コーデック搭載のプレーヤーが必要となります。
元データ (.JDR)	HD-DR Player 専用の形式 (拡張子 jdr) で保存します。
G センサーデータ (.txt)	G センサーの値をテキストファイルで保存します。
GPS	GPS の値をテキストファイルで保存します。

メモ

- SD カードをパソコンにセットする操作については「SD カードをパソコンにセットする」(P.7) を参照してください。
- HD-DR Player の起動操作については「HD-DR Player を起動する」(P.8) を参照してください。

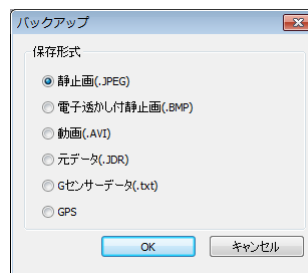
1. HD-DR Player ウィンドウの (バックアップ) をクリックします。

[バックアップ] ダイアログボックスが表示されます。

2. バックアップするファイル形式を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

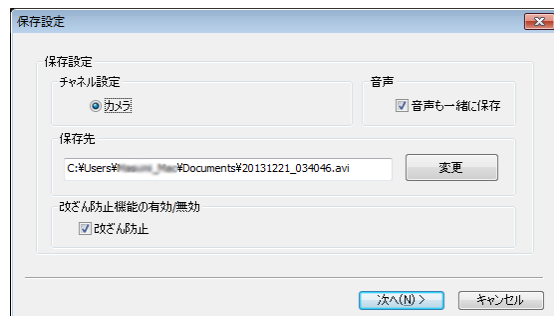
[静止画 (JPEG)]、[電子透かし付静止画 (.BMP)] を選択した場合は、[フォルダーの参照] ダイアログボックスが表示されます。手順 4 に進んでください。

[動画 (.AVI)]、[元データ (.JDR)]、[G センサーデータ (.txt)]、[GPS] を選択した場合は、[保存設定] ダイアログボックスが表示されます。



3. 保存先を確認して [次へ] ボタンをクリックします。

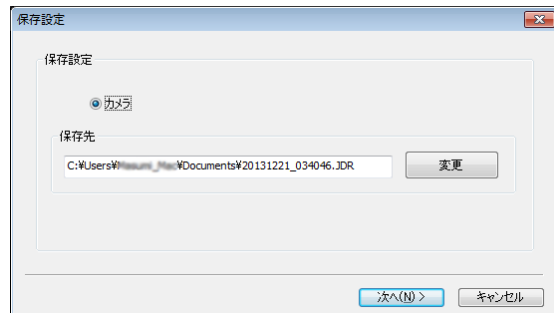
AVI 形式で保存する場合、音声を保存するかどうかと改ざん防止機能の有効 / 無効を選択できます。



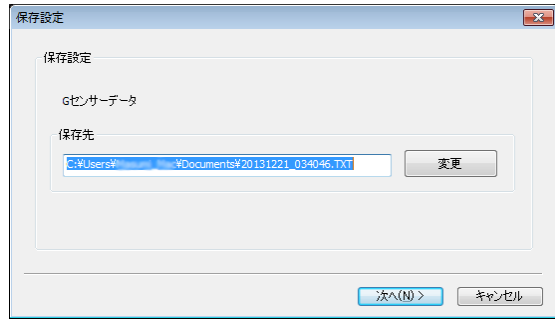
保存形式：
動画 (.AVI)

メモ

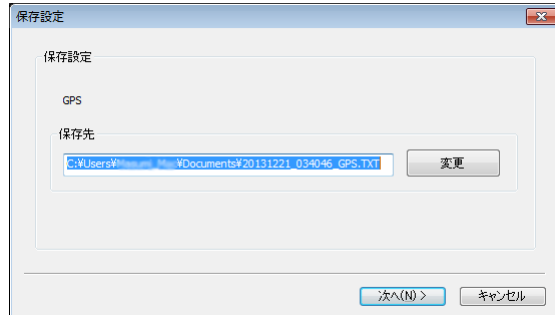
- 保存先を変更しない場合は、手順 5 へ進んでください。
- 保存先のフォルダーを変更したい場合は、[変更] ボタンをクリックすると表示される [フォルダーの参照] ダイアログボックスでフォルダーを選択します。手順 4 に進んでください。



保存形式：
元データ (.JDR)



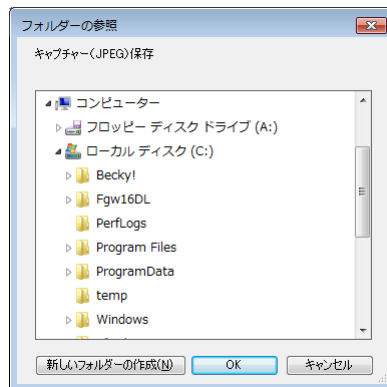
保存形式：
Gセンサーデータ
(.txt)



保存形式：
GPSデータ (.txt)

保存が開始されます。保存が終了すると、メッセージが表示されます。

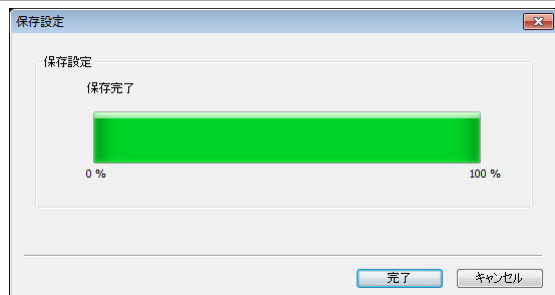
4. 保存先のフォルダーを選択して [OK] ボタンをクリックします。



保存が開始されます。保存が終了すると、メッセージが表示されます。


5. [完了] ボタンをクリックします。

バックアップするデータの種類によっては、保存に時間がかかる場合があります。



記録設定をバックアップする

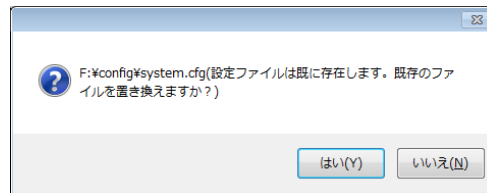
SD カード内の設定ファイルをパソコンにバックアップ（保存）します。

1. SD カードをパソコンにセットします。
2. HD-DR Player を起動します。
3. HD-DR Player ウィンドウの  (設定) をクリックします。
[設定] ダイアログボックスが表示されます。
[設定] ダイアログボックスのタイトルバーには、現在読み込まれているファイルのパスが表示されます。
4. タブを選択して各項目の設定を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

メモ

設定の変更については「設定を変更する」(P.13) を参照してください。
既存の設定 (system.cfg) の上書きを確認するメッセージが表示されます。

5. [いいえ] ボタンをクリックします。



[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

6. 保存場所を選択し、[保存] ボタンをクリックします。
必要に応じて、ファイル名を変更することもできます。ただし、拡張子は変えないでください。
設定ファイルが選択した場所に保存されます。

メモ

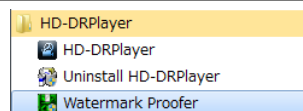
本機に SD カードを挿入し、電源が入ると、自動的に記録に必要な設定やフォルダーが SD カードに書き込まれます。
設定ファイル (system.cfg) は、SD カード内の「config」フォルダーに保存されています。「config」フォルダーをパソコンにコピーすることで、記録設定をバックアップすることもできます。
SD カードには、4 つのフォルダーが作成されます。それぞれ次のデータが格納されます。

フォルダー名	内容
config	[設定] ダイアログボックスの各タブでの設定内容が保存されます。
data	常時録画として記録されたデータが保存されます。(拡張子 jdr)
event	イベント録画のデータが保存されます。(拡張子 jdr)
update	ソフトウェアのアップデートに関する情報が保存されます。

電子透かし認証ユーティリティを使う

バックアップした「電子透かし付静止画」には電子透かしが入っています。電子透かしは、通常の状態では見ることはできない、改ざん防止の情報を含んでいます。電子透かしの入った画像を改ざんすると、改ざんの痕跡が残るようになっています。電子透かし認証ユーティリティを使って、電子透かし付静止画を開くと、改ざんのあるなしを確認することができます。

1. スタートメニューを表示し、[すべてのプログラム] をクリックします。
2. [HD-DR Player] フォルダーを開き、[Watermark Proofer] をクリックします。



[電子透かし認証ユーティリティ] ウィンドウが表示されます。

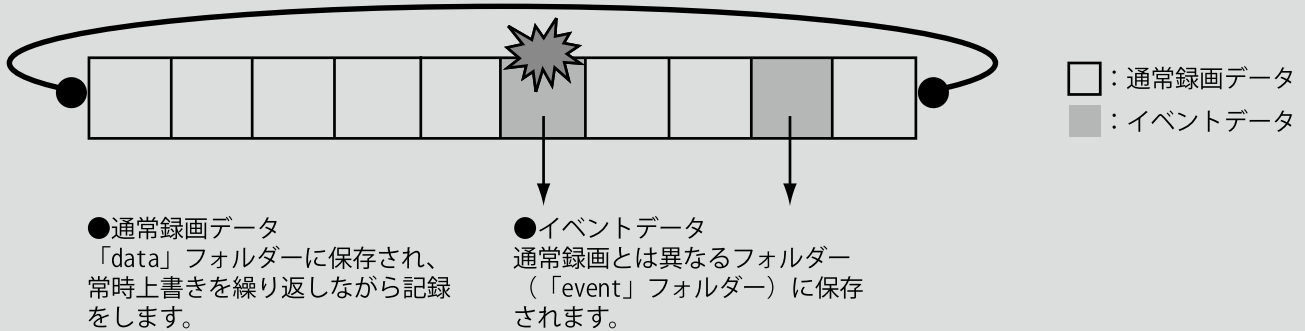
メモ

Windows Vista 以降の OS の場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたら、[はい] ボタンをクリックしてください。

■記録されるデータについて

本製品は、給電で電源が入り、自動的に録画が開始されます。また、衝撃の検知や手動録画ボタンを押すなどのイベントをトリガーにデータ保護し、通常録画の領域から退避し保護されます。

●記録について



本製品では、撮影された映像などのデータを一定サイズ（約71MB）のファイルに区切りながらSDカードに記録、保存します。

常時録画のファイルは、領域がいっぱいになると古いものから上書きされます。

記録されるデータは衝撃などのイベントが発生した場合にイベントデータとなり、データは常時録画とは別に設けられた「event」フォルダーに保存され、常時録画の上書きから退避させられます。

（イベント用の領域と常時録画の領域の割合は設定で変更することができます）

イベントの場合でも、上書きが「する」の状態の場合、イベントデータ用の領域のサイズを超えると古いイベントデータに上書きされ、新しいファイルが上書きされます。イベントファイルを上書きせず、残したい場合は設定で、上書きを「しない」に設定してください。

上書きを「しない」に設定した場合、領域がいっぱいになると記録が中止され、ブザーが鳴ります。（録画ランプが消灯、ブザーが4回3秒毎に鳴ります）

●イベントの種類と説明

イベント	説明
ボタン	本体背面の手動録画ボタンを押すことで、前後の記録をイベントとして保護します。
衝撃	本体内部のGセンサーが衝撃を検知した場合、前後の記録をイベントとして保護します。
オーバースピード	設定された時速を超えた場合、前後の記録をイベントとして保護します。
急加速	本体内部のGセンサーが急加速（アクセル）を検知した場合、前後の記録をイベントとして保護します。
急減速	本体内部のGセンサーが急減速（ブレーキ）を検知した場合、前後の記録をイベントとして保護します。
駐車	通常録画状態で、本体内部のGセンサーが動作を検知しない場合、約10分後に駐車モードとなり、記録のフレームレートを5FPSに減らし記録をします。
モーション	駐車モード中に、映像に大きな変化を検出するとモーションイベントとして記録を保護します。

※保護されるイベントの長さは、付属プレーヤーで4秒から36秒の間で設定することができます。

●記録時間

本製品は、記録された映像を圧縮して保存します。圧縮の程度は録画される映像によって異なるため、記録される時間は、撮影される映像の種類によって変わります。

以下の表を目安にして、記録したい時間に合わせた設定をしてください。

まさかの瞬間を記録するため、常時録画のフレームレートを下げ、イベント時のフレームレートを大きく設定して使用することをお勧めします。

1GB当たりの記録時間の参考値（20フレームレート設定）

解像度	720		VGA	
	昼間	夜間	昼間	夜間
最低	1時間半	50分	4時間半	2時間
低	1時間	40分	3時間半	1時間半
中	50分	35分	3時間半	1時間
高	40分	30分	2時間	50分
最高	30分	30分弱	1時間半	40分

* 撮影される映像により、記録される映像の長さは異なります。

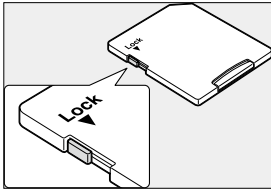
HD-DR Player で SD カードをフォーマットする

SD カードを本機にセットすると、記録に必要な設定が書き込まれます。

複数の SD カードをまとめて処理したい場合など、必要に応じて、パソコン上の HD-DR Player で専用形式の SD カードを作成することもできます。

注意

- ・フォーマットする前に、SD カードがロックされていないことを確認してください。



- ・SD カードのロックを外してもフォーマットできないときは次のことを確認します。
OS が Windows Vista 以降の OS の場合、Administrator 権限のユーザーでないとフォーマット操作はできません。Administrator 権限でログインしてください。

メモ

- ・SD カードをパソコンにセットする操作については「SD カードをパソコンにセットする」(P.7) を参照してください。
- ・HD-DR Player の起動操作については「HD-DR Player を起動する」(P.8) を参照してください。

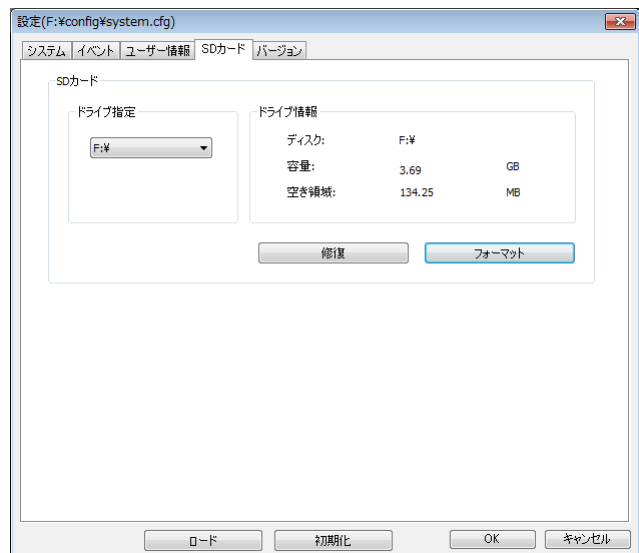
SD カードをフォーマットする

1. HD-DR Player ウィンドウの  (設定) をクリックします。

フォーマットツールのダイアログボックスが表示されます。

2. [ドライブ指定] の ▼ をクリックして、SD カードのドライブ名を選択します。

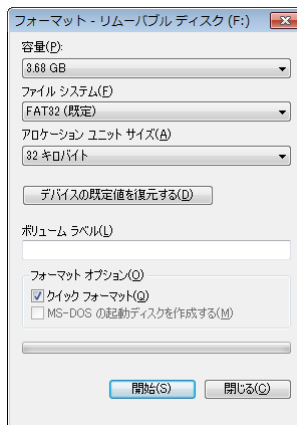
3. [フォーマット] ボタンをクリックします。



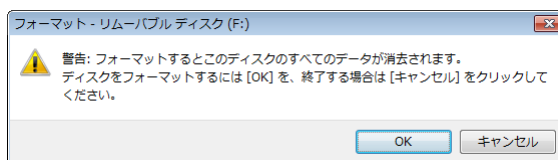
[フォーマットリムーバブルディスク] ダイアログボックスが表示されます。

4. [開始] ボタンをクリックします。

フォーマットを確認するメッセージが表示されます。

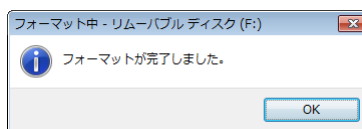


5. [OK] ボタンをクリックします。



フォーマットが開始されます。終了すると、メッセージが表示されます。


6. [OK] ボタンをクリックします。



7. [閉じる] ボタンをクリックして、[フォーマットリムーバブルディスク] ダイアログボックスを閉じます。

SD カード修復する

何らかの原因で SD カードに記録されているデータが読み取れなくなった場合には、修復操作を試みてください。

1. HD-DR Player ウィンドウの  (設定) をクリックします。

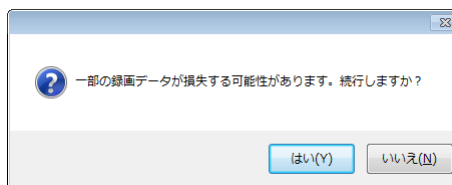
フォーマットツールのダイアログボックスが表示されます。

2. [ドライブ指定] の▼をクリックして、SD カードのドライブ名を選択します。

3. [修復] ボタンをクリックします。

フォーマットを確認するメッセージが表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。



困ったときは

修理を依頼される前に、次の症状・対処方法を確認してください。症状が該当しない、または指示どおりにしても解決できない場合には、お買い上げの販売店・弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

Q: 本体の取り付けに失敗しました。左（右・上・下）側が写っていません。

A: 『スタートアップガイド』の設置方法を参考に設置してください。

本製品は、フロントガラス面へ両面テープでの貼り付けとなるため、一度貼り付けると剥がして付け直すことができません。注意して取り付けてください。

Q: 急ブレーキや急加速のときも、データ保護がされない、また、すぐに反応してしまう。

A: [設定]ダイアログボックスのイベントタブで、「衝撃センサー設定」を変更して、保護機能の働く衝撃センサーの値を調整してください。また、使用状況に合わせてこの設定を適宜調整することをお勧めします。⇒「設定を変更する」(P.13)

Q: 電源が入らない / 録画が開始されない

以下のステップを確認してください。

- ・シガープラグとシガーソケットとの接続を正しいか確認してください。
- ・製品の DC ジャックにシガーチャージャーが正しく接続されているか確認してください。
- ・シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は同じ容量（250V3A 品：長さ 30mm 直径 6mm のもの）のヒューズと交換してください。
- ・シガーライターをタバコの点火に多用されている場合は、シガーソケット内部が汚れていないかを確認してください。2、3 度シガープラグを廻しながら入ると改善できる場合があります。

Q: シガーチャージャーとシガーソケットの形状が合わない。

A: 市販のシガーソケットを複数に分配するソケットなどを使用して取り付けてください。

Q: 録画が開始されない。

A: 以下のステップを確認してください。

- ・SD カードが正しく挿入されているか確認してください。
- ・SD カードアダプターに付いている保護スイッチが LOCK になっている場合、SD カードに記録ができません。SD カードアダプターの LOCK を解除して再度挿入してください。
- ・SD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は SD カードを取り換えてご使用ください。その際は弊社推奨の SD カードをご使用ください。（推奨カードは HP に記載）
- ・HD-DR Player で SD カードの修復、またはフォーマットを試みてください。それでも不具合が直らない場合は、パソコンで SD カードのフォーマット（初期化）を試みてください。⇒「HD-DR Player で SD カードをフォーマットする」(P.21)

Q: 記録が保存されない。

A: データ保護がかかっているときは、SD カードの領域がいっぱいになった場合、情報が記録されずエラーとなります。

その際は、[設定]ダイアログボックスの[上書き保存]を「する」にするか、SD カード内の情報記録データを移動・削除してください。または、新しい SD カードを挿入してください。必要に応じて、バックアップを取ることをお勧めします。⇒「設定を変更する」(P.13)

Q: ランプが点滅する / ブザーが鳴る

A: ランプやブザーは、次表のように動作します。ランプやブザーの状態を確認してください。異状がある場合は、必要に応じて SD カードの挿入や交換をしてください。

正常時	電源オン	ブザー音が鳴り、録画ランプと GPS ランプが点灯します。
	起動中	録画ランプと GPS ランプが点灯後、数回点滅します。
	記録開始	ブザー音が鳴り、録画ランプが点灯します。
	イベント記録中	録画ランプが 1 秒毎に点滅をします。
	GPS 信号検知	GPS ランプが点灯します。
	GPS 信号探索中	GPS ランプが点滅します。
異常時	SD カード未挿入	録画ランプが点灯で、ブザーが 2 秒毎に繰り返し鳴ります。
	SD カード残容量不足	録画ランプが消灯で、ブザーが 4 回 3 秒毎に繰り返し鳴ります。
	SD カード破損	録画ランプが消灯で、ブザーが 2 回 2 秒毎に繰り返し鳴ります。この場合は SD カードを新しいものに交換する必要があります。
	ファイルシステムエラー	4 回ブザーが 2 回連続して鳴り、システムが再起動されます。再起動後、自動的にリカバリーを試みます。リカバリーできないときは新しい SD カードに交換する必要があります。"
	SD カードのリカバリー中	録画ランプ、GPS ランプとも点滅を繰り返します。

製品仕様

■本体

製品型番	LVR-SD300HD
コーデック	H.264 (ビデオ)、ADPCM (オーディオ)
撮影素子	CMOS カラー
画角	水平：93°、垂直：70°
電源電圧	DC 12V/24V
動作温度	-5℃～50℃ (車内)
動作湿度	10～95%
記録メモリ	SD/SDHC カード (2～32GB) Class 6 以上を推奨
記録形式	独自形式 (専用拡張子)
フレームレート	最大 30 fps
イメージサイズ	720P (1280 × 720)、360P (640 × 360)
音声録音	あり (ON/OFF 設定可能)
記録方式	常時録画 + イベントデータ保護
記録データ	日時、映像データ、音声データ、G センサーデータ、GPS 位置情報
イベントファイルサイズ	約 71MB
データ保護条件	G センサー (3 段階設定可能) で衝撃検知、ボタン操作によるデータ保護、スピードオーバー、急加速、急減速など、計 7 種類のデータ保護が可能
日時設定	GPS による自動設定 ※ GPS が有効でない場合は内蔵の時計が使用されます。
ビデオ出力	3 ピンミニジャックで出力
外形寸法	104.5 × 42 × 39.5mm (突起部分を除く)
重量	100g (SD カードを除く)

■ HD-DR Player 動作要件

対応 OS	Windows XP, Windows Vista (32bit/64bit), Windows 7 (32bit/ 64bit)、Windows 8 (32bit/64bit)
パソコン推奨環境	上記 OS がプリインストールされている PC、または上記 OS が動作する PC

サポート修理受付窓口のご案内

■製品に関するお問合せ

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行っておりません。

This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ **6409.jp** (<http://6409.jp>) (必要ありません)

テクニカルサポート

TEL : 0570-022-022 FAX : 0570-033-034

受付時間 : 10:00 ~ 19:00

営業日 : 月曜日～土曜日 (夏期、年末年始特定休業日を除く)

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
- ・ご利用の機種
- ・ご質問内容 (症状、やりたいこと、お困りのこと)

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

■修理について

製品保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、保証期間の有無を問わず対応いたしません。

This warranty is valid only in Japan.

製品本体以外の付属品は、保証対象ではありません。

付属品問合せ窓口へメールにてご相談ください。

<http://www.logitech.co.jp/pro/fuzoku.html>

修理終息製品の検索、依頼の手順、修理依頼書 (PDF ファイル) をインターネットへ掲載しております。ご利用が可能であればご確認をお願いします。

<http://www.logitech.co.jp/support/service.html>

修理は、修理センターへお送りいただいた依頼品を修理 (製品交換の場合あり) してご返却します。保証期間中の修理については、保証規定に従い修理します。保証期間の有無が確認できない場合、保証期間を超えた修理については有料となります。ただし、生産終了後の経過期間によっては修理できない (修理終息) 場合がありますのであらかじめご了承ください。

■修理ご依頼時の確認事項

- ・修理期間中の貸出機、代替機はありません。
- ・保証期間の有無にかかわらずご送付頂く際の送料はお客様負担となります。
- ・輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。梱包材を用いて梱包し、必ず発送の控えが残る宅配便にてご送付いただき、依頼品がお手元に戻るまで発送の控えは大切に保管してください。
- ・保証期間内の修理を依頼される場合は、ご購入年月日の確認できる販売店印のある保証書、保証書シール、レシートを添付してください。
- ・依頼品には、お客様の氏名、連絡先 (ご住所 / 電話番号)、故障の状態を書面にて添付してください。

■修理依頼先

〒396-0111

長野県伊那市美すず 8268 番地 1000

ロジテック INA ソリューションズ株式会社 3 番窓口エレコムグループ修理センター

TEL:0265-74-1423 FAX:0265-74-1403

○電話受付時間

月～金 9:00～12:00、13:00～17:00

※祝日、夏期、年末年始、特定休業日を除く

製品に関する技術的なお問合せや修理が必要かどうかについてのお問合せは、テクニカルサポートへお願いします。

■廃棄について

お住まいの自治体の区分にしたがって廃棄してください。

Logitec

LVR-SD300HD HD-DR Player 操作ガイド
2014年11月第5版

 **ロジテック株式会社**

© 2014 LOGITEC CORPORATION All rights reserved.